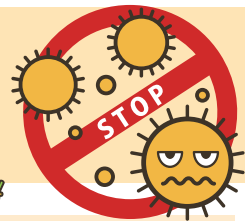


# 声

## 議会広報モニターさんからの



2mあけましょう



流行り始めは終息を早く望んでいましたが、現在ではインフルエンザのようにいつでも身近にあるものと思わないといけない、思うようになりました。まさに「withコロナ」です。**早くワクチンと薬が開発される**ことを祈るばかりです。そして国民全体が抗体検査を受けられるようになることを希望します。

宿泊業を生業としていますが、日々加減という言葉の意味に考えさせられる昨今です。宿泊業はお客様が半日以上滞在されるので、消毒も滞在中に何回も行わせてもらいますが、タイミングに気を付けています。**人と人との関わり方**など、この機に色々考えさせられ、悪い事ばかりではないと思いますが、とにかく早く終息してくれることを祈るばかりです。

一人ひとりが手洗い・手指消毒・咳エチケットを実践し、「**感染しない・させない・出さない**」という考え方が必要だと思いました。



自粛期間中は、離れて暮らす家族とのオンライン通話や少しの断捨離をし、また接触確認アプリもダウンロードし、ひたすら時間が過ぎるのを待っていました。そんな中、地域の中などでの何気ない会話やちょっとした交流などが心を温め、安心感を与え、人とのつながり社会とのかかわりの大切さを痛感しました。

町や議会も、様々な対応に追われていると思いますが、**社会的に弱いとされる子どもや高齢者が取り残されないよう**きめ細やかなご配慮を望むところです。

その情報を号外等活用して住民に素早く発信して欲しいです。

解除が早かったように感じました。解除にはなったものの、**収入が不安定**な方が今後増える気がします。



## 新型コロナウイルス感染症について日々感じているご意見をうかがいました

農業と観光、どちらも当町の重要な産業が深刻なダメージを受けました。

イベントの自粛もまだ続きそうですが、**町独自のガイドライン**を作って、少しずつイベント開催して、みんなを元気にしたらどうでしょう。

休校による勉強の遅れを取り戻すために、小中学生の夏休みはお盆の1週間のみになってしまい、大変な1年だと思っている。新型のウイルス、見えない恐怖であったが、必要なものの買い占めや、感染者やその家族が差別を受けた話を聞くと、**互いに思いやる心**が大切だと思う。

「家ででの時間」が増えた事で、娘がすすんで食事の支度をしてくれたり、田んぼ道を一緒にウォーキングしたり、農作業を家族でしたりと充実して過ごすことができています。感染予防をしながらも、**今だからできる「楽しみ」**を見つきたいです。

仕事(理容業)も超濃厚接触です。普段から徹底していますが、お客様1人終わるごとに消毒スプレーで椅子・はさみ・くしの消毒。6月に入り、**やっとお客様が来てくれるようになりました**。売り上げはかなりきついです。頑張りましょう。

第2次世界大戦時、空爆されたロンドンの大学教授は「今こそ学び、新たな文明を築こう」と授業を続けたそうです。「誰が責任を取るんだ」と言わないで、**自分たちを守る行動**をとればいい。完璧な防護をして外に出ましょう。

解除後は他県からの移動者が増加しています。また、マスクを着用していない方が見受けられます。一方、PCR検査を受けていない私達にも感染の有無は分かりません。もしかしたら？という**危機感を継続して持つことが大事**と考えます。何より、町から一人も感染者が発生していないことは素晴らしいことと思います。